

一般社団法人日本体力医学会定例理事会（2014年5月）議事録

日時：2014年5月16日（金）午後5時30分～7時30分

場所：東京八重洲ホール 701会議室

議長：下光輝一理事長

出席者：下光輝一、碓井外幸、大野 誠、小野寺昇、
勝村俊仁、川久保清、栗原 敏、定本朋子、
下村吉治、鈴木政登、武政 徹、竹森 重、
田中宏暁、田畑 泉、永富良一、西平賀昭、
浜岡隆文、福永哲夫、山内秀樹、
吉岡利忠（各理事）

中垣内真樹（第69回大会実行委員長・長崎）

欠席者：荒尾 孝、川原 貴、坂本静男、田中喜代次、
鳥居 俊（各理事）、
小林康孝、能勢 博（各監事）、
田島文博（第70回大会長・和歌山）

議事に先立ち、下光理事長から2014年4月1日に本学会が一般社団法人として新たにスタートしたと挨拶があり、法人化に多大なる支援をいただいた小野寺総務委員長はじめ役員の方々に感謝の意が述べられた。

【審議事項】

1. 前回議事録の承認

理事会開催中に各自で議事要旨の内容確認を行い、訂正等がある場合は申し出ていただくこととし、理事会終了後に承認とすることとした。

2. 持ち回り理事会議決事項の確認について

（小野寺総務委員長）

1) 旅費規定（2014年3月11日開催）

持ち回り審議を行った旅費規定について、特に異議なく承認されたことが報告された。2014年3月24日制定、2014年4月1日より施行。

2) 男女共同参画学協会連絡会12期要望書最終確定版（2014年3月6日開催）

持ち回り審議を行った男女共同参画学協会連絡会12期要望書最終確定版について、特に異議なく承認されたことが報告された。

3) ロゴマーク作成依頼文（2014年3月25日開催）

持ち回り審議を行ったロゴマーク作成依頼文について、特に異議なく承認されたことが報告された。

4) 「脳血管疾患・虚血性心疾患予防のための診療ガイド」（仮）策定協力依頼（2014年3月31日開催）

持ち回り審議を行った「脳血管疾患・虚血性心疾患予防のための診療ガイド」（仮）策定協力依頼について、特に異議なく承認されたことが報告された。合同会議の際の旅費は各々の学会で負担すると説明があった。

5) 利益相反に関する運用指針（2014年3月25日開催）

持ち回り審議を行った利益相反に関する運用指針について、特に異議なく承認されたことが報告された。また、役員の方に対して後日メールで利益相反に関する自己申告書を提出するよう呼びかけを行うとアナウンスがされた。

6) 利益相反に関する運用指針（英語）

（2014年4月4日開催）

持ち回り審議を行った利益相反に関する運用指針（英語）について、特に異議なく承認されたことが報告された。また、様式3（役員などの利益相反自己申告書）の翻訳についても、役員に外国の方が就任する場合も考えられるため、翻訳してはどうかと提案があり、承認された。本理事会後に翻訳を進めることとなった。

3. 理事会日程について（小野寺総務委員長）

今後の理事会日程案が資料として提出され、以下の通り2014年11月までの理事会日程が決定した。

- ・2014年8月29日（金）
- ・2014年9月18日（木）※大会前日
- ・2014年11月21日（金）

4. 平成26年度決算見込みについて（勝村財務委員長）

資料に基づき、平成26年度決算見込みについて報告があり、正式な決算は8月の理事会で報告予定であると説明された。

また、2014年4月23日に下光理事長と勝村財務委員長で本部事務局を訪ね、学会財産である預金通帳を全て確認し、適正に管理・運用されていることを確認したと報告があった。

5. 平成27年度予算案について（勝村財務委員長）

別紙資料により平成27年度予算案が提示された。法人2期目（2014年8月1日～）となる本予算案は、今まで別々にしていた各地方会及び大会収支を、本部会計と合算していくこととなったと説明がされた。また、例年と異なった点として、平成27年度は名簿作成及び選挙実施年であり、その費用を予算に組み込んでいるとの説明がなされた。現状の予算案では1,000万以上の赤字のため、費用削減の検討を関係役員で行いたいと提案があり、最終的な予算案は7月末までに持ち回り理事会で審議することとした。

6. 平成27年度事業計画案について（小野寺総務委員長）

別紙資料により平成27年度事業計画案が提示された。委員会活動の細かい部分（文言等）については別途調整・修正する事とし、7月末までに持ち回り理事会で審議することとした。

7. 学会賞について（竹森学会賞選考委員長）

学会賞選考委員会からの提出資料に基づき、審査経過ならびに審査結果が報告された。5月9日に開催された委員会において、下記3編の論文を各学会賞に選考したことが報告され、承認された。

【学会賞（体力科学）】※対象論文数 35編

- ◎「ベンチステップ運動でのトレーニングが閉経女性の骨密度、骨塩量と骨代謝に及ぼす影響」（62巻1号）
松原建史・酒井由美子・柳川真美・肘井千賀・沼田 信・江上 薫・山口靖子・峰 祐子・前田 龍・田中宏暁・進

藤宗洋・小池城司

【学会賞 (JPFISM)】※対象論文数 13編

◎「Adherence to and effects of multidirectional stepping exercise in the elderly: A long-term observational study following a randomized controlled trial」(2巻1号)

Ryosuke Shigematsu・Tomohiro Okura・Masaki Nakagaichi・Yoshio Nakata

【奨励賞】※対象論文数 体力科学 14編, JPFISM 6編

◎「小児の日常生活中におけるエネルギー消費量と体格・体力との連関 -二重標識水法および加速度計法を用いた検討-」(体力科学62巻5号)

中江悟司・山田陽介・木村みさか・鈴木和弘・小澤治夫・平川和文・石井好二郎

8. ロゴマーク案について (小野寺総務委員長)

別紙資料によりロゴマーク案3つが提示された。総務委員会で検討した結果、A案を進めたいと提案があり、A案の基本デザインを進めることが承認された。文字の位置や大きさ等細かい点を再度デザイナーに修正依頼し、次回理事会で再度提出することとなった。また、第69回長崎大会時の社員総会で、学会ロゴマークを決定する予定であると、今後の予定が説明された。

9. 特定資産取扱規程について (小野寺総務委員長)

別紙資料により特定資産取扱規程案が提示され、審議の結果、承認された。また、各地方会で保持している財産も今後本部会計と合算して進めていくこととなるが、各地方会の財産は各地方会で使用するよう規定する、運用規定案も次回理事会以降に提出することが報告された。

10. その他

1) 日本の体力医学の源流と変遷 (確井学術委員長)

体力科学63巻2号247-257掲載の総説「日本の体力医学の源流と変遷 (栗原 敏, 鈴木政登, 清田 寛)」は、本学会の歴史がまとめてあり、本学会の歴史を知らない会員にも役に立つと考えられるため、別刷りとして作成し、会員に周知したいと提案があった。審議の結果、長崎の社員総会時に参考資料として配布することが承認された。また、予算はその他学術活動費から支出することとした。

2) 「日本医学教育学会との共同企画」の提案 (下光理事長)

日本医学教育学会理事長の伴先生より、「日本医学教育学会との共同企画」の提案のお手紙をいただいたと報告があった。役員の方々にメール配信で本資料を共有した所、吉岡理事より、実習を行う際の倫理上の問題(特に学生を被験者として行う実習)に関するシンポジウムなどの開催は如何かと意見があった。今後先方と共同でできる企画があれば、提案していきたいと報告があった。

3) 日本医学会連合の設立 (下光理事長)

別紙資料により日本医学会連合の定款及び謄本が提示され、2014年4月1日に設立されたと報告があった。また、日本医学会の評議員として下光理事

長、連絡委員に吉岡理事、用語委員に鈴木理事、代委員に西平理事がそれぞれ引き続き担当すると報告があった。

4) JPFISMに学会大会の英文抄録を記載する日程案 (鈴木編集委員長)

2012年の理事会で提案していた、JPFISMに学会大会の英文抄録を掲載する日程案について、再度提案があった。審議の結果、大会終了後に提出する抄録を英文とし、JPFISMに掲載するための手続きについて、長崎大会(2014年)および和歌山大会(2015年)の総会において、会員に十分説明し、岩手大会(2016年)の発表抄録は英文としJPFISMに掲載することとなった。また、提出された英文抄録は編集事務局でnative speakerに添削依頼は行わず、発表者各自の責任で提出してもらった事を周知することが確認された。

【報告事項】

1. 各種委員会報告

1) 総務委員会 (小野寺委員長)

今後の総務委員会の活動予定が以下の通り報告された。

- ・ロゴマークの確定。
- ・利益相反の運用規定を、まずは役員から各種委員会へと広める。
- ・愛媛大会の大会長を推薦する。

2) 編集委員会 (鈴木委員長)

編集委員会報告として配布資料が配られ、以下の通り報告された。

- ・利益相反運用指針が制定されたことにより、持ち回り委員会を開催し、投稿規定を改定。
- ・英文の投稿規定については本理事会終了後に、利益相反に関する部分を翻訳し、HPに掲載予定。
- ・JPFISM発行予定について、来年度は役員改選の時期にあたり、新たにJPFISM編集委員長に就任された方が、当面の掲載論文確保に困らないよう、2015年Vol. 4, Vol. 5までのInvited Review articles and Short review articleについては打診済み。
- ・JPFISMの依頼総説に対して、会員から意見があったと報告があり、「Invited Review articles and Short review article」に投稿して頂いた方々の貢献に報いるという点においても、「依頼総説および短報」の「査読過程等」を工夫して、「査読有り」論文として取り扱われるよう、編集委員会において検討を行う予定。
- ・2014年3月3日にJPFISMのMEDLINE(PubMed)申請を行った。
- ・J-STAGE投稿審査システム利用料として年額15万円の負担となる予定。
- ・2014年4月10日、11日に鈴木委員長と今泉副委員長が鶴岡印刷を視察し、鶴岡印刷では学術情報XML推進協議会に入会したこと、JPFISMの編集業務をスムーズにするため英語が堪能なスタッフを採用した、との報告を受けた。
- ・長年本学会の編集業務に携わった白幡裕子氏に感

謝状と粗品を渡した。

- ・予算削減に係る体力科学, JPFISMの保管用の印刷部数を必要最小限の部数に留めるよう検討予定。

3) 学術委員会 (碓井委員長)

- ・スポーツ医学研修会実行委員会 (山内委員長)
新しい講師を4名迎え、テキストも新たに作り直したことが報告された。

今年の研修会は基礎コースが2014年7月11日12日、応用コースが8月1日2日で行われると説明された。

現在の申込状況は仮登録含めて20名以上集まっていると報告があった。

- ・称号委員会 (碓井委員長)
4月24日付で「日本体力医学会健康科学アドバイザー」の商標登録の出願を行ったと報告があった。8月～10月頃に結果連絡が到着するなど、今後の予定が説明された。
- ・プロジェクト研究委員会 (碓井学術委員長)
4月末を応募メ切と設定していたプロジェクト研究について、検討の結果、今年の採択するプロジェクトは無かったことが報告された。また、今年の採択件数が0件であったため、来年度2件のプロジェクト研究を採択したいと提案があり、承認された。

4) 評議員選考委員会 (吉岡委員長)

今年度も学会誌に評議員申請要項を挟み込み、広く募集を行うと報告があった。

5) 渉外委員会 (永富委員長)

渉外委員会報告として配布資料が配られ、以下の通り報告された。

- ・内科系関連8学会 (日本動脈硬化学会, 日本肥満学会, 日本糖尿病学会, 日本高血圧学会, 日本循環器学会, 日本内科学会, 日本腎臓病学会, 日本血栓止血学会) が、改定する動脈硬化疾患包括的リスク管理ガイドライン2014の策定に、本学会が参加することになったと報告があった。5月17日の第2回合同会議には川久保ガイドライン検討委員長が参加予定。また、本学会大会時に合同シンポジウム開催を検討中。
- ・2014年4月2日にThe Asian Society of Exercise Science (ASES) が設立された (国際運動生化学会が母体の団体)。本学会との連携について既に打診があり、合同企画等を検討中。
- ・ACSM参加助成対象者3名が決定し、学会HPに掲載を行った。
- ・ECSS-JSPFISM 交流シンポジウムについて、ECSS2014 Amsterdamに宮地元彦先生を派遣、「身体活動のガイドラインについて」。ECSS2014 Award受賞者を招待講演者に加えた交流シンポジウムを長崎大会で開催予定。また、ECSSでは毎年11月を締め切りとして翌々年度の招待講演・シンポジウムの企画を募り、年明け1月のプログラム委員会ですべての企画案の審査・採択を決定し

ており、本学会との交流シンポジウムプログラムも審査対象になるため、ECSS2016以降の企画案については、このルールに従って提案をする必要がある。この対策として、本理事会後に学会員に広く企画募集を行う予定。なお、提案には座長候補者の推薦も含めることとする。ECSS2015の交流シンポジウムについては会員に周知する期間がなかったため、渉外委員会メンバーに企画推薦を依頼した結果、永富委員長、藤田委員が「筋力低下・サルコペニアに関わる因子とそのメカニズム」をテーマとした企画を提出し、現在ECSS側の返事待ちの状況。

6) 広報委員会 (武政委員長)

2014年4月1日に学会HPをリニューアルしたと報告があった。

7) 将来構想検討委員会 (下村委員長)

大会におけるPlenary Lectureについては渉外委員会の活動をバックアップしていくこと、学会HPにおける会員名簿検索 (会員管理システム) については現在事務局に調査を依頼していると報告があった。

2. 第68回 (東京) 大会の大会報告について (栗原第68回大会長)

資料に基づき、参加人数は学生の参加者を含めて2,000名を超えたこと、収支決算について報告があり、学会に約24万6千円を寄付したと報告があった。

また、当日登録の参加者が多いと、大会開催事務局の収支計画が立てづらいため、事前登録の呼びかけを行って欲しいとの提案があった。

3. 第69回 (長崎) 大会の進捗状況 (中垣内第69回大会実行委員長)

1) 菅原大会長の所属変更

2014年4月1日より、長崎大学教育学部から西九州大学健康福祉学部へ異動したと報告があった。

2) 演題登録

2014年4月1日より、大会HP上で演題登録の募集を開始し、締切は5月21日の予定であり、5月15日現在、口頭発表が50題、ポスター発表が74題、どちらでもよいと回答された方が17題、合計141題と報告があった。また、演題募集の延長については、5月22日の実行委員会で判断を行う予定であると報告があった。

3) 企業展示

企業展示スペースとして38コマ準備し、現在24コマ申込があり、残りの枠を埋めるためにも、役員の方で懇意の企業があれば声掛けをお願いしたいと依頼があった。

4) 事前参加登録

事前参加登録の締切は7月31日までで、現在一般が109名、学生が24名と合計133名の事前参加登録がされていると報告があった。

5) 大会プログラム

大会プログラムに関しては演題登録が済んだ段階

で確定を行う予定であると報告があった。また、大会長講演1題、特別講演1題、シンポジウム15題、ワークショップ6題、ランチョンセミナー4題、県民公開講座1題と、講演者には依頼の承諾が得られていると報告があった。

6) 会期・会場

会期：平成26年9月19日(金)～21日(日)

会場：長崎大学文教キャンパス

4. 第70回大会(和歌山)の準備状況(小野寺総務委員長)

配布資料により、大会の準備状況等について報告があった。

大会長：田島文博(和歌山県立医科大学教授)

副大会長：本山 貢(和歌山大学教授)

会期：2015年9月18日(金)～20日(日)

会場：和歌山県民文化会館,
ホテルアバローム紀の国

テーマ：げん紀の国 和歌山
～オリンピック・パラリンピアンスポーツ
医学と健康増進体力医学の融合～

5. 第71回大会(岩手)の準備状況について (小野寺総務委員長)

国体開催事務局から要請があり、昨年の総会でお知らせしていた会期を変更しなければならなくなると説明され、新たな日程が報告された。

【変更前】 会期：2016年9月2日(金)～4日(日)

会場：マリオス, アイーナ

【変更後】 会期：2016年9月23日(金)～25日(日)

会場：マリオス, アイーナ

6. その他

- ・先般逝去された中野昭一名誉会員に哀悼の意を表し、全員で黙祷した。また、中野昭一名誉会員の追悼文を吉岡理事が作成することとなった。